

[カミーノ]

Caminho

みのかもで、叶えられる夢がある!



～第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略～

With

～第1期美濃加茂市女性活躍推進計画～

アクションプラン

・・・個別施策一覧（令和2年度～令和6年度）・・・



令和2年4月策定

令和6年7月改訂

岐阜県美濃加茂市



概要

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは、地方の人口（特に若者）が減り、これによって地域の経済が衰退していくことの克服を目指すものです。

そのために、若い世代が安心して働ける「しごとづくり」、地方への新しい人の流れをつくる「ひとづくり」、地方で安心して暮らせる「まちづくり」を基本の柱として、市町村ごとに地域の実情に合わせた総合戦略を策定しています。

美濃加茂市では、総合戦略の柱に「女性の活躍」を掲げています。

特に、「ライフスタイル」「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」「教育」のステージを人生のポイントと捉え、それぞれのステージにおいて、女性が笑顔でいられ、輝き、夢が叶えられるまちづくりを推進することによって、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指していきます。

策定にあたって

本計画は、学識経験者と市民からの公募によって構成された、市の諮問機関である「女性活躍推進市民会議」への諮問と、産官学金労言の有識者によって構成された「総合戦略推進アドバイザー懇談会」の開催を通じて、第1期の方向性の継承を基本に、様々な角度から検証・課題抽出を図り、より効果的な政策に結び付けていくための助言・提案を得ています。

計画の位置付け



（１） 第6次総合計画の実行計画としての位置づけ

本計画は、美濃加茂市第6次総合計画のまちづくり宣言（基本計画）の1つである「女性若者活躍」の実行計画として位置付けます。

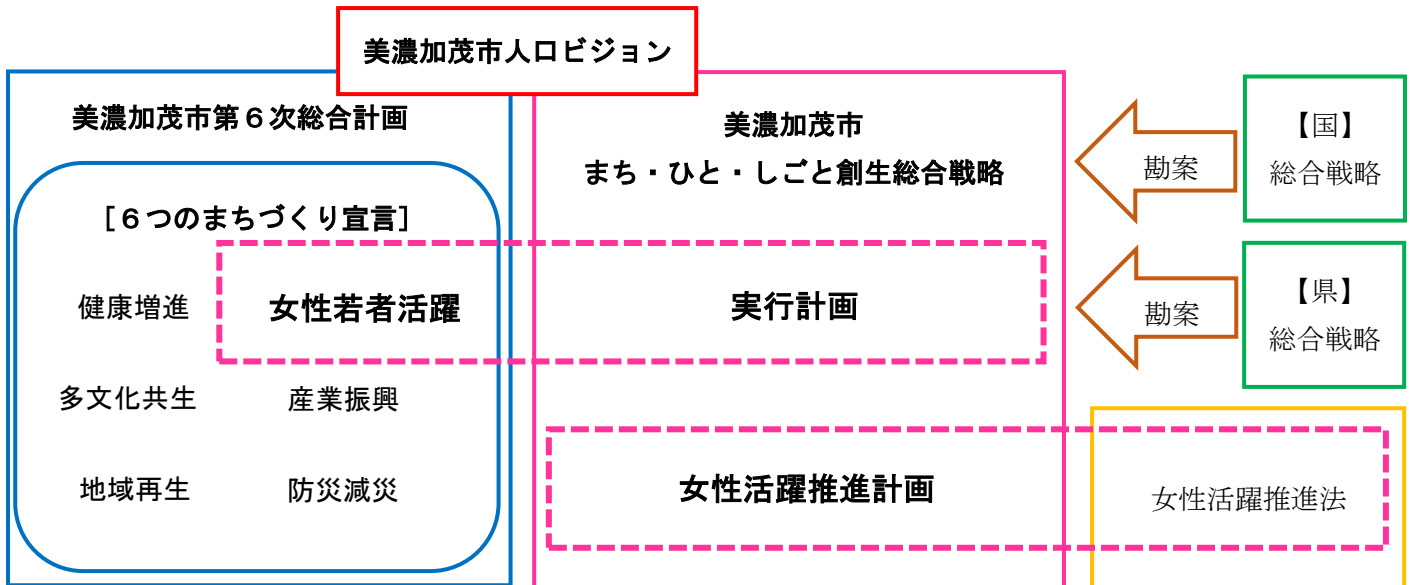
（２） 法令及び関連計画との整合性

本計画は、まち・ひと・しごと創生法に基づく美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付けます。また、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略及び岐阜県「清流の国ぎふ」創生総合戦略との整合性を図っています。

（３） 美濃加茂市女性活躍推進計画としての位置づけ

本計画は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下「女性活躍推法」という。）第6条第2項に基づく美濃加茂市女性活躍推進計画として位置付けます。

【計画の体系】



国[第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略]の方向性

【基本目標】

- 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする。
 - ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
 - ・安心して働ける環境の実現
- 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる。
 - ・地方への移住・定着の推進
 - ・地方とのつながりの構築
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
 - ・結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。
 - ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

岐阜県「清流の国ぎふ」創生総合戦略の方向性

【政策の方向性】

- 「清流の国ぎふ」を支える人づくり。
 - ・未来をささえる人
 - ・誰もが活躍できる社会
- 健やかで安らかな地域づくり。
 - ・健やかに暮らせる地域
 - ・安らかに暮らせる地域
 - ・誰もが暮らしやすい地域
- 地域のあふれる魅力と活力づくり。
 - ・地域の魅力の創造・伝承・発信

- ・次世代を見据えた産業の振興
- ・農林畜水産業の活性化

女性の職業生活における活躍の推進の基本的な考え方(女性活躍推進法)

【法の基本原則】

- ・女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行が及ぼす影響への配慮が行われること
- ・職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- ・女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきこと

【目指すべき社会】

働きたいという希望を持ちつつも働いていない女性や職場でステップアップしたいと希望する女性等、自らの意思によって働き又は働こうとする女性が、その思いを叶えることができる社会、ひいては、男女が共に、多様な生き方、働き方を実現でき、それにより、ゆとりがある豊かで活力あふれる、生産性が高く持続可能な社会の実現を図る。

【事業主の取組に必要な視点と行政の役割】

事業主が女性の職業生活における活躍を推進するに当たっては、法の基本原則を踏まえつつ、以下の視点を持って、自ら実施すべき取組を検討・実施していくことが求められる。

一方、行政は、事業主が取組を円滑かつ効果的に実施できるよう法に基づく必要な支援を行うとともに、女性に対する支援措置や、職業生活と家庭生活との両立のために必要な環境整備を図る。

(必要な視点)

- ・トップが先頭に立って意識改革・働き方改革を行う。
- ・女性の活躍の意義を理解し、女性の活躍推進に積極的に取り組む。
- ・働き方を改革し、男女ともに働きやすい職場を目指す。
- ・男性の家庭生活への参画を強力に促進する。
- ・育児・介護等をしながら当たり前キャリア形成できる仕組みを構築する。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

【カミーノ】

アクションプラン

42事業

ライフスタイル「自分らしく生きられる。」 P.7～

- 1 夢へのチャレンジを応援します。【起業しやすい環境の整備】
- 2 ライフ・ワーク・バランスを実現します。【プライベートと仕事の両立の支援】
- 3 「働きたい」想いを叶えます。【女性の就職、職場復帰の支援】
- 4 「みのかもに住みたい」をサポートします。【移住・定住の支援】

出会い・結婚「家族をつくれる。」 P.16～

- 1 いろんな「出会い」があります。【多彩な交流機会の創造】
- 2 いつも、誰かと話せる場所があります。【交流スペースの整備】

妊娠・出産「お母さんになれる。」 P.18～

- 1 「子どもがほしい」気持ちに寄り添い、応援します。【不妊治療に対する支援】
- 2 妊娠・出産する女性を孤立させません。【安心できる妊娠、出産への支援】
- 3 「2人目、3人目がほしい」希望を叶えます。【子育て家庭の精神的負担へのサポート】

子育て「子どもの笑顔を守れる。」 P.22～

- 1 自然の中で、子どもがのびのび遊べます。【子どもの遊び場や自然環境の整備】
- 2 安心して子どもを預けられる場所があります。【保育環境の整備】
- 3 子育てをみんなでできる地域を目指します。【子育て支援の推進】
- 4 安心して子どもを育てることができる環境をつくれます。【心身が健康に成長できる支援の充実】

教育「ふるさとを好きになれる。」 P.31～

- 1 家庭や地域を大切に思う子どもを増やします。【ふるさと教育の推進】
- 2 地域や企業と一緒に、子どもの教育を進めます。【キャリア教育の推進、子どもたちの地域参加の促進】
- 3 子どもたちの“夢を実現する力”を育みます。【グローバル人材の育成】
- 4 子どもたちの学習意欲を高める教育を充実させます。【校外学習の推進、教育の情報化】

アクションプランの見方

女性活躍推進計画として位置づける事業について表示

「SDGs」の17のゴールのどれに関連しているか表示

RO
推進
交付金

●具体的な施策（1）女性活躍推進



～							
事業名		主管課					
事業名		※事業の担当課名					
内 容	概要説明〇〇〇〇						
	■ 対象者 〇〇〇〇						
	■ 目指す効果 〇〇〇〇						
成果指標			2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	〇〇〇〇						
	実績						

交付金を受けている事業について表示
上部には、交付金を受けた年度を表示

事業に該当する成果指標（行政活動・政策の成果を測る指標。具体的な効用を基準とする。）を記載。

※上段は目標値、下段は実績値を表示

※令和3年3月改訂版から「持続可能な開発目標(SDGs)」への関連をロゴを使って示しています。

SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット(達成基準)から構成されます。自治体におけるSDGsの達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するものであり、美濃加茂市では、「第6次総合計画の推進=SDGsの推進」と考えています。第6次総合計画の実行計画の1つでもある総合戦略カミーンにおいても、その取組はSDGsの推進に繋がるため、各事業がSDGsの17のゴールのどれと関係しているのかをより明確に示すために、SDGsのロゴ貼り付けています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



充実したライフスタイルを送る女性の割合を 63.6%から75%に増やします

(出典：市民満足度調査のうち、「今の暮らしについて思うこと」の20～39歳の女性が今の暮らしに満足している割合)

●現在の課題

女性が社会や地域に関わり続けていくためには、様々なハードルを超えていかなければなりません。収入を得て生活を安定させることも大切ですが、自分らしい人生を歩んでいくための努力を惜しまないことも大切です。

1 夢へのチャレンジを応援します。 起業しやすい環境の整備

●必要な対応

夢や希望を実現するための相談窓口の開設など、女性が活躍できる場の提供を創出し、地域との関わりを持つための交流機会の創出を目指します。

●具体的な施策（1）女性活躍推進



～あなたの起業や出店の夢・希望を支援します～

事業名	姫 Biz	主管課	商工観光課			
内 容	起業を希望する人やイベント等を実施したい人が、気軽に相談できる窓口「姫 Biz」を開設しています。女性やシニア層のニーズが多いスモールビジネスや小規模なイベントなどにも、きめ細かく女性スタッフが相談に乗り、夢の実現を後押しします。また、中山道の活性化に女性のチカラを活用するため、中山道で空き家を借りて起業する人には、その改修費と起業日から3年間の家賃補助を行っています。 ■対象者 起業・出店の希望者、事業の拡大を夢見る既存事業主、イベント企画者等 ■目指す効果 小さな起業やイベントの実施などを応援することで、女性の夢や希望が叶うまちを目指します。また、女性のチカラを活かし、中山道を「平成姫街道」として賑わいを取り戻します。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	起業・出店件数（累計）	59 件	67 件	75 件	83 件	91 件
	実 績	55 件	83 件	103 件	121 件	



●具体的な施策（２）



～里山資源を活かした「森林空間活用」に取り組みます。～

事業名	里山再生	主管課	農林課			
内 容	『里山千年構想』に基づき里山再生を推進するため、「里山整備」・「里山活用」・「里山資源活用」・「森づくり」を進めます。計画的な整備や人材育成を踏まえた整備後の継続的な維持管理にあわせ、新たに木材利用や森林空間を活用した森づくりに向けた取り組みを進めます。（里山の多面的利活用） ■ 対象者 里山を整備・所有・維持管理する人、里山資源を活用する人、里山を訪れる人 ■ 目指す効果 持続可能な里山整備、循環型の森林の利活用のために、里山の多面的な利活用を推進し、森林空間利用と一体とした森づくりに向けた取り組みや、新たな木材利用の推進など、里山資源の有効的な活用を構築することで、新たな雇用を生み、しごとの創生に取り組みます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	里山再生・活用プログラム実行数（累計）	5 事業	6 事業	6 事業	7 事業	7 事業
	実 績	5 事業	6 事業	6 事業	8 事業	



2 ライフ・ワーク・バランスを実現します。※

プライベートと仕事の両立の支援

※一般的には、ワーク・ライフ・バランスと表記しますが、本計画においては、ライフを重要視しているため、言葉の順序を変えています。

●必要な対応

家族又は自分の時間と仕事を両立させ、充実した暮らしの実現に向けた取り組みが必要です。特に、家族や友人と過ごしたり、趣味に励んだりするプライベートの充実があって、心も体も健康に仕事も充実するといえます。プライベートと仕事のウエイトはそれぞれ異なりますが、自分らしいバランスで人生を歩んでいけることを支援します。



●具体的な施策（１）

～趣味や特技を持ちプライベートを充実させることができます～

事業名	生涯学習活動の推進		主管課	ひとづくり課		
内 容	この街でいきいきと楽しく暮らすために、年間を通してさまざまな形でいろいろなテーマの生涯学習講座を企画、開催します。自分を磨くことでプライベートが充実し、個人で学ぶだけでなく、学習仲間と出会うことができます。また、学んだことを活かして自分自身が講師となり、自分の知識を広めることができます。					
	■対象者 学びながら、教えながら、いきいきと暮らしたい人 ■目指す効果 生涯学習講座に参加することで、プライベートが充実し、学習仲間も増え「美濃加茂市に住んでよかった」と思うことができます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	市民企画講座受講者数 （単年度）	4,600 人	4,600 人	4,600 人	4,600 人	4,600 人
	実 績	0 人	1,402 人	2,128 人	3,520 人	



●具体的な施策（２）女性活躍推進



地域女性活躍
推進交付金

推進
交付金

～笑顔で楽しむことができる「みのかもライフ」をつくります～

事業名	Caminho 推進プロジェクト				主管課	ひとづくり課
内 容	様々なライフステージで、その時々で、女性が安心して笑顔でいられるよう、イベントや交流会、セミナー、講座などを開催し、いきいきと暮らすための機会を設けます。 (カミーノ推進事業) ■対象者 市民・来訪者 or どなたでも ■目指す効果 家族や親子や友人、一人でも楽しめるイベントやセミナーなどに参加することで、多くの人が集い、交流し、楽しむ・学ぶにプラスして、たくさんの友達や仲間ができ、充実した「みのかもライフ」を楽しめます。趣味や打ち込めることを見つけ、自分を好きになったり自信を持って、周りの人を大切に、心豊かに、ずっと住み続けたいと思えるまちを目指します。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	講座等参加者数（累計）	120 人	180 人	240 人	300 人	360 人
	実 績	236 人	387 人	581 人	708 人	



～いつまでも元気に暮らせるよう健康 i Q を高めます～

事業名	ヘルステック健康のまちづくり事業	主管課	健康課			
内 容	みのかも健康プラザ内に開設する「ヘルステックセンター」を拠点に、市内社会医療法人及び健康増進に協力する企業と連携して、健診データ等を集約・分析した結果を市民にフィードバックし、健康的な生活を送るための知識や情報を伝えるとともに、里山をはじめとする地域資源を活用したウォーキングプログラム等の活動機会を提供して、市民一人ひとりが自らの健康について考え、生活の中に健康づくりを積極的に取り入れられるよう「健康 i Q」を高め、いつまでも元気に暮らし働くことができる健康的な生活を実現します。 ■対象者 市民、特に働き盛りで健康が気になり始める４０代、５０代 ■目指す効果 市民一人ひとりが自らの健康について意識を高く持ち、「運動」「食」「予防医療」「テクノロジー」が一体となった健康づくりを進め、健康診断の受診率向上と健康寿命の延伸を図ります。					
成果指標	年度（令和）	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
	特定健診受診率（単年度）	31.6%	33.0%	35.0%	37.5%	40.0%
	実 績	－	33.8%	35.0%	33.4%（仮）	



～里山地域の拠点と資源を活用した、
里山地域の特色あるくらしづくりを目指します。～

事業名	古民家を活用したシェア工房等整備事業		主管課	まちづくり課		
内 容	市内北部地域に広がる里山の資源を活かし、里山資源を活用できる人材の育成や、里山資源の活用機会の創出をとおして交流人口の拡大や地域経済の活性化を目指すため、伊深町地内の古民家を里山地域の拠点施設として改修、整備します。 この古民家は、木工旋盤シェア工房、里山資源を活用した商品の制作・販売、ギャラリースペース、コワーキングスペース及び講座の実施等が行えるシェアスペースなどとして利用できるよう整備します。施設の利用をとおして利用者と地域のつながりを築き、男女問わず幅広い層の交流人口が増加することで、里山地域の賑わいと里山資源を活かすことができる人材を育てることができます。 ■対象 整備施設 伊深町地内既設の古民家 施設利用対象 里山地域や里山資源に関心のある方をはじめ地域内外を問わず誰でも ■目指す効果 里山資源を活用できる人材の育成、里山資源の活用機会の創出をとおした交流人口の拡大、地域経済の活性化					
	年度（令和）	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度
	成果指標	施設で生産した地域資源を活用した商品生産額	3,600 千円	6,600 千円	7,800 千円	7,800 千円
	実 績	1,940 千円				



3 「働きたい」想いを叶えます。

女性の就職、職場復帰の支援

●必要な対応

結婚、出産、育児…女性は人生の中のイベントごとに環境や立場が変わり、それによって仕事を辞めたり、働き方を変えなければならなかったりすることがあります。そんな女性たちの「働きたい」という想いを叶えるために、相談したり、情報や知識を得るための場所づくり、また、働きやすい環境などを整えるための支援をします。

●具体的な施策（1）女性活躍推進



～働きたい！あなたのそんな気持ちに寄り添います～

事業名	女性活躍支援センター　リオラ		主管課	ひとづくり課		
内　容	女性の「働きたい」という想いを叶えるために、「ふらっと寄って、ちょっと相談。そっと寄り添う。」をコンセプトに、一人ひとりに寄り添う伴走型就労支援をはじめ、自分の魅力を再発見するための講座や交流会を開催します。自分に自信を持ち、新たな一歩を踏み出すための後押しをします。 （カミーノ推進事業） ■対象者 市民・来訪者 or どなたでも ■目指す効果 自分にあった働き方、子育てとの両立、ワーク・ライフ・バランスの確保に向けた相談や少人数のセミナーや講座等を開催し、伴走型就労支援の入り口にするとともに、理想のライフデザインを叶えるためのきっかけの場となります。女性がいきいきと働くことで、活気あふれるまちになります。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	相談件数（累計）	450 件	610 件	780 件	960 件	1,150 件
	実　績	191 件	459 件	716 件	1,164 件	



●具体的な施策（２）女性活躍推進



～ワーク・ライフ・バランス推進企業と
女性求職者のマッチングを支援します～

事業名	合同企業説明会等開催支援		主管課	商工観光課		
内 容	女性求職者が、従業員の子育てを支援する取組や意識啓発を行っている市内ワーク・ライフ・バランス推進企業とマッチングできる機会を提供する。 (勤労者労働者支援事業)					
	■対象者 合同企業説明会に出展する市内ワーク・ライフ・バランス推進企業及び女性求職者 ■目指す効果 合同企業説明会に市内ワーク・ライフ・バランス推進企業の出展を促すとともに、女性求職者に対し、説明会開催前と開催当日に分かりやすい情報提供を行うことで、女性求職者の参加者を増やし、市内ワーク・ライフ・バランス推進企業とのマッチング機会を創出する。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	合同企業説明会等マッチング機会の提供数（累計）	2 回	4 回	6 回	8 回	10 回
	実 績	1 回	3 回	6 回	11 回	

●具体的な施策（３）



R1～R3

推進
交付金

～外国人が多様な事業分野で活躍できるまちを目指します～

事業名	インバウンド推進による外国人材との共生 と共創のまちづくり事業		主管課	商工観光課		
内 容	外国人市民の観光事業への参画を促進し、外国人の視点を活かして「外国人旅行者の市内周遊や滞在を促すための課題」を抽出し、それを解消するための施設整備や案内等の多言語化、サービスの充実を促進します。また、観光資源情報を一体的に外国人旅行者へと発信するためのポータルサイト開設及び運営を行い、外国人宿泊者数増加と宿泊者による市内観光周遊の促進を図ります。 ■対象者 外国人市民、訪日外国人旅行者 ■目指す効果 外国人市民の地域社会への参加促進を図りながら、これまでなかった観光事業者と外国人市民との継続的なマッチング機会を創出し、外国人市民がインバウンド需要に対応するための人材として就労するなど活躍の場を広げることで、さらなる外国人市民との共生と共創社会の実現につなげます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	外国人市民が就労する観光事業者数（累計）	5 事業者	10 事業者	12 事業者	14 事業者	16 事業者
	実 績	1 事業者	1 事業者	1 事業者	2 事業者	

4 「みのかもに住みたい」をサポートします。

移住・定住の支援

●必要な対応

新しいまちに移住する際には、生活を始めるための準備にかかる費用負担や地域の文化・風習に馴染むことができるかといった様々な不安を抱えます。そうしたハードルを越えて、地方で自分らしい暮らしの夢が叶えられるよう支援します。

●具体的な施策（１）



～地方で暮らしたい・働きたい思いを応援します～

事業名	移住して暮らし始めるための支援		主管課	まちづくり課		
内 容	東京圏や都市部を中心に、市の情報や魅力を発信して UIJ ターンによる移住・定住の促進を図ります。SNS の活用や移住相談会への参加など情報提供をはじめ、移住希望者への住まいの情報提供（空き家バンク）、東京圏からの移住者に対する一部経費の補助（移住支援金・条件あり）などの支援を整備します。（移住定住促進事業） ■対象者 移住希望者 ■目指す効果 地方での就業や起業を希望する人を呼び込むことによって、若者の流出による担い手不足の緩和につなげるとともに、人口減少の課題を克服する一助となることを目指します。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	空き家バンク制度を利用した、空き家物件の売買または賃貸借の成約件数	5 件	5 件	6 件	6 件	7 件
	実 績	9 件	4 件	8 件	3 件	



婚姻件数(年あたり600件)を維持します

(出典：市民課戸籍調)

●現在の課題

あんな家庭をつくりたい、こんな夫婦が理想・・・など、結婚することに夢を持っている人がいる一方で、結婚相手に出会えるのかな？ちゃんと生活できるか不安・・・など、結婚そのものに前向きな気持ちを持ってない人もいます。

1 いろんな「出会い」があります。 多彩な交流機会の創造

●必要な対応

結婚は必ずしなくてはいけないものではないけれど、誰かと出会って恋をして、家族になれる・・・そんな出会いがたくさんあるまちを目指します。

●具体的な施策(1)



～大切なふたりの出会いをサポートします～

事業名	マリッジサポート		主管課	ひとづくり課・福祉課		
内 容	誰かと出会って、恋をして家族になる、そんなライフプランの実現をサポートします。ライフプランの設計など、パートナーと一緒に自分らしく生きるための支援をします。結婚相談所の運営により、出会いの場の創出を行います。（カミーノ推進事業） ■対象者 結婚したいと思っている男性や女性 ■目指す効果 パートナーと家族になり、幸せな家庭生活を送ることによって、定住人口の増加や地域の活性化を図ります。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	結婚相談所利用者の交際件数（累計）	12 件	24 件	36 件	48 件	60 件
	実 績	20 件	23 件	44 件	64 件	



2 いつも、誰かと話せる場所があります。 交流スペースの整備

●必要な対応

既存の公共施設等を活用して、誰もがいつでもふれあうことができる交流スペースをつくり、まち全体で人と人とがふれあう場を提供します。



●具体的な施策（１）こんなことはじめます！

～いつでも誰かと出会える、わくわくする空間を提供します～

事業名	Caminho Garden		主管課	ひとづくり課・まちづくり課 ・土木課・農林課・スポーツ振興課		
内 容	公共施設や公園、グラウンドなどを活用して、レジャー、学び、イベント等の様々な目的に合わせて、新しい出会いと交流や友人・家族と楽しく過ごせる空間として活用できる場所「Caminho Garden」を創出します。					
	公園の再整備（前平公園、井戸畑公園）、交流センターの建設（伊深交流センター）、グラウンドの再整備（牧野ふれあい広場）を進めていきます。 また、旧伊深村役場庁舎を活用したまちのにぎわい創出による地域の活性化を推進していきます。					
	※Caminho Garden：「加茂野交流センターあまの森」「リバー・ポート・パーク MINOKAMO」「みのかも健康の森」「旧伊深村役場」「伊深交流センター（令和3年度追加）」「井戸畑公園（令和4年度追加）」 ■対象者 市民、来訪者 ■目指す効果 いつでも誰かと話せる空間を整備することで、新しい出会いを育んだり、新しい発見をしたり、家族で楽しんだり、最新の情報を共有することができるようになります。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	①Caminho Garden 設置数（累計）	4 か所	5 か所	6 か所	7 か所	7 か所
	実 績	4 か所	5 か所	6 か所	6 か所	
	②旧伊深村役場庁舎の集客数	14,500 人	17,000 人	17,000 人	17,000 人	17,000 人
	実 績	90 人	9,370 人	9,370 人	11,146 人	



生まれる赤ちゃんの数(年あたり500人)を維持します

(出典:市民課戸籍調)

●現在の課題

晩婚化、仕事のタイミング、経済状況などのハードルがあり、子どもを持ちたいと思っても、願いが叶えられない家庭も多く、いろんなストレスを抱えながら妊娠・出産に向き合っている女性も多くいます。

1 「子どもがほしい」気持ちに寄り添い、応援します。

不妊治療に対する支援

●必要な対応

子どもが欲しくても妊娠できない人もいるため、特定不妊治療費の助成に加え、一般不妊治療費の助成を行うことなどで、精神的・経済的な負担の軽減を目指します。

●具体的な施策(1)



～「子どもを産みたい」という願いを支援します～

事業名	妊婦健康診査・不妊治療費助成		主管課	健康課		
内 容	不妊治療に関わる治療費は高額で家庭の経済的負担が大きいため、引き続き特定不妊治療費及び一般不妊治療の助成を行っていきます。また、岐阜県では、男性の不妊治療費の助成も行っています。					
	■対象者 「子どもを産みたい」という想いを持つ市民 ■目指す効果 不妊治療に要する経費の一部を助成することで、子どもがほしい家庭の経済的負担を軽減します。これにより、経済的負担を理由に妊娠を諦めていた家庭を支援し、合計特殊出生率の向上を目指します。 ※不妊治療が保険適用範囲になったため、令和4年度をもって事業を終了。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	不妊治療助成件数（特定・一般） （単年度）	85 件	90 件	91 件	91 件	91 件
	実 績	60 件	75 件	23 件	—	—

2 妊娠・出産する女性を孤立させません。

安心できる妊娠、出産への支援

●必要な対応

妊娠や出産に関する悩みは、誰にでも相談できるものではありません。美濃加茂市版ネウボラを整備することで、安心して相談できる仕組みづくりを目指します。

ネウボラとは・・・フィンランド語でネウボ（neuvo）＝アドバイス、ラ（la）＝場所という意味。妊娠から出産まで、生まれた後も切れ目なくサポートを提供する総合的な支援サービス。



●具体的な施策（１）女性活躍推進

～あなたの子育てにずっと寄り添います～

事業名	美濃加茂市版ネウボラ	主管課	健康課・子育て支援課 ・教育委員会			
内 容	保健師をはじめ、保育士、歯科衛生士、栄養士、助産師の専門職スタッフが、出産・子育てに不安を抱える方に寄り添い、サポートします。From0歳プランを含め、切れ目のない支援を行うことで、子育ての負担軽減を図ります。また、子育てに関する総合相談窓口として子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期や子育て中の女性がいつも誰かに相談でき、不安なく出産・子育てに臨めるよう支援します。 妊娠期からの支援事業（子育て世代包括支援センター、あじさい子育てひろば、電子母子健康手帳）、子育て支援事業、From0歳プラン推進事業、乳幼児期家庭教育学級支援事業を進めていきます。 ■対象者 妊娠期及び子育てをしている市民 ■目指す効果 市民が安心して妊娠・出産、子育てができるような体制を整え、美濃加茂市で子どもを産みたい、美濃加茂市で子どもを育てたいと思ってもらえるような仕組みをつくります。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	相談・母子教育事業利用件数 （単年度）	4,600件	4,700件	4,750件	4,750件	4,750件
	実 績	1,853件	2,627件	2,308件	3,009件	



●具体的な施策（２）女性活躍推進



R3

地域女性活躍
推進交付金

H30～R2

推進
交付金

～家族みんなで子どもを育みます～

事業名	お父さんの子育て支援		主管課	健康課・子育て支援課 ・ひとづくり課		
内 容	父親も育児をすることがあたりまえの美濃加茂市にするために、産後のパパ教室や、パパと子どもが参加できるイベントなどを開催します。また、美濃加茂市の子育てイベントや子育て情報、子どもと一緒にに行けるオススメスポット等をまとめて、SNSで発信できるように進めていきます。 また、「もうすぐパパママ教室」を開催し、夫婦で出産や育児の不安を軽減し、“共に育てる”心を育みます。岐阜県が発行する「父子手帳：パパスイッチオン」を活用して、パパの役割を伝えます。子育て支援施設等でパパ同士が交流する場を設けたり、乳幼児期学級のパパ教室、児童館やサンサンルームでの「パパとあそぼう」を開催したりします。 ■対象者 子育てをしている市民 ■目指す効果 父親も子育てを一緒にし、美濃加茂市全体で、家庭を大切にすることへの理解が深まることで、パパもママも働きながら子育てをしやすい環境が整い、家族みんなで子育てを楽しめるようになることを目指します。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	お父さんの教室参加者数 （単年度）	160人	160人	160人	160人	160人
	実 績	47人	35人	132人	94人	



3 「2人目、3人目がほしい」希望を叶えます。

子育て家庭の精神的負担へのサポート

●必要な対応

2人目や3人目の子どもを欲しい家庭は少なくありません。経済的な負担や精神的な負担を軽減することで、その願いを叶えられるようなサポートを目指します。

●具体的な施策（1）女性活躍推進



～仕事と家庭の両立支援に取り組む企業を増やします～

事業名	ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録		主管課	ひとづくり課・商工観光課		
内 容	岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進の認定制度を活用し、企業に対する支援（広報・周知等）を進め、美濃加茂市に子育てに優しい企業を増やします。					
	■対象者 仕事と家庭の両立ができる企業 ■目指す効果 仕事と家庭をともに大切にできる職場づくりをしている企業が増えることによって、誰もが子育てをしやすい働きやすいまちを実現します。移住希望者にとって「働き口が見つからない」という雇用面での不安要素が高くなっている状況の中、仕事と家庭の両立に理解のある企業を見える化することで、移住先としてのポテンシャルを高めます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	ワーク・ライフ・バランス推進 企業登録企業数（累計）	105 件	108 件	111 件	114 件	117 件
	実 績	103 件	108 件	59 件	60 件	



子育て 子どもの笑顔を守れる。

子どもを持つ世帯の平均子ども数 1.75 人を維持します

(出典:18 歳未満世帯員のいる世帯の 18 歳未満世帯人員数の平均推計値)

●現在の課題

子どもたちを自然の中で遊ばせたい、少しぐらい転んでもいろんなことを学んでほしい・・・と願う人も多くいます。美濃加茂市で育つ子どもたちが笑顔でいること、それがお父さん、お母さんの一番の願いです。

1 自然の中で、子どもがのびのび遊べます。

子どもの遊び場や自然環境の整備

●必要な対応

川、里山の両面を併せ持つ美濃加茂市は、この自然を活かした特色ある保育・幼児教育を充実させることを目指します。

●具体的な施策（1）



～里山の自然とふれあう場、本物の木にふれあう場をつくります～

事業名	「森のようちえん」「木育ひろば」		主管課	農林課		
内 容	整備された里山の中で子ども達が自由に活動する機会を設けることで、里山の大切さを知り、心豊かな子どもに育っていけるよう「森のようちえん」を開園します。ぎふ清流里山公園北部の未利用地や市内の里山を整備し、年中・年長の子どもの対象に、平成28年度からは通年型を年6回、イベント型を年1回（いずれも定員20名）開催しています。また、本物の木にふれあう場として「木育ひろば」を設置し木のおもちゃや簡単な木工体験ができる場をつくります。（木育・森林環境教育）					
	■対象者 子育てをしている市民、美濃加茂市を訪れる人 ■目指す効果 令和元年度から「森のようちえん」に加え「森の小学校」を開催します。また「木育ひろば」を設置することで木工体験を実施することが可能となり、こども達が里山の自然の中で遊ぶ機会を増やすことで、魅力ある子育て環境を推進し、美濃加茂市で子育てをする人を増やします。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	森のようちえん・木育体験のべ参加者数（単年度）	160 人	170 人	180 人	190 人	200 人
	実 績	20 人	70 人	17 人	26 人	

●具体的な施策（２）

～里山の自然とふれあいながら子どもを育みます～

事業名	保育園の里山遊び		主管課	こども未来課		
内 容	自然にふれあい、元気いっぱい遊ぶことで、子どもの好奇心を掻き立て、想像するちからを育み、体力もつけていきます。また、市民や来訪者に自然の中で遊ぶことの大切さを伝え、山之上や伊深、三和地区の方だけでなく、市内各地区から山之上こども園やほくぶ保育園への就園児童数を増やしていきます。（山之上こども園、ほくぶ保育園）					
	■対象者 市内在住の小学校就学前の児童 ■目指す効果 自然にふれあい、元気いっぱい遊ぶことで、子どもの好奇心を掻き立て、想像する力を育み、体力もつけていきます。また、自然の中で遊ぶことの大切さを伝え、山之上や伊深、三和地区の方だけでなく、市内各地区から山之上こども園やほくぶ保育園への就園児童数を増やしていきます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	山之上こども園、ほくぶ保育園の就園児数（単年度）	77 人	79 人	80 人	80 人	80 人
	実 績	89 人	94 人	91 人	74 人	



2 安心して子どもを預けられる場所があります。

保育環境の整備

●必要な対応

保育士の増員、保育内容の充実などにより、共働き家庭でも安心して預けられる体制を整えることを目指します。



●具体的な施策（１）女性活躍推進

～子どもたちの笑顔で活気あふれる保育環境を整備します～

事業名	保育園の新整備	主管課	こども未来課			
内 容	子どもが健やかに成長し、親が安心して子どもを産み育て、女性が働きやすい環境をつくるために、保育園の施設数及び規模の適正化を図り、統合や民営化あるいは複合化も視野に入れて建て替え、整備を進めます。 ■対象者 〇 保育園就園児童及び保護者 ■目指す効果 急増する３歳児未満の保育ニーズへの対応できる保育園を整備することで、安心して子どもを預けられる場所をつくります。また、核家族化が進む中、世代間交流が希薄になっているため、交流センター等との複合化を検討することで、保育園での世代間交流の機会を増やします。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	各年度 1 月 1 日現在の待機児童数（累計）	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	実 績	0 人	0 人	0 人	0 人	

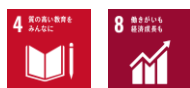


●具体的な施策（２）

～みんなで保育を支える仕組みをつくります～

事業名	地域型保育事業	主管課	こども未来課			
内 容	地域型保育事業（事業所内保育、家庭的保育）を行う事業者・個人に対し、運営費等の補助を行い、地域で安心して子どもを預ける場所を増やします。 ■対象者 地域型保育事業者 ■目指す効果 地域型保育事業を推進することで、待機児童の減少につながります。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	各年度 1 月 1 日現在の待機児童数（累計）	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	実 績	0 人	0 人	0 人	0 人	

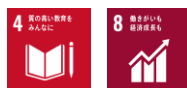
●具体的な施策（３）



～保育士の笑顔、子どもの笑顔を育みます～

事業名	I C T活用保育事業		主管課	こども未来課		
内 容	介護現場で導入している状態把握プログラムを応用して、個々の子どもの状態を把握することで、保育士の事務負担が軽減されます。同時に、そのデータを基に保育士間のコミュニケーションを図り、保育士のスキルアップに繋げていきます。（連携事業）					
	■対象者 園児、保育士 ■目指す効果 保育士も子どもも笑顔になれる保育園を目指し、常に質の高い保育サービスを提供できます。そんな保育園のある美濃加茂市で子どもを育てたいと思う親の増加を狙い、さらに、美濃加茂市で保育士になりたい人も増やします。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	スキルアップに有効と感じる保育士の割合（単年度）	80%	80%	80%	82%	82%
	実 績	92%	90%	90%	90%	

●具体的な施策（４）女性活躍推進



～放課後や長期休暇の子育てを支援します～

事業名	放課後児童健全育成事業の拡大		主管課	こども未来課		
内 容	保護者が就業等により昼間家庭にいない児童を対象に、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと児童の健全育成を図る事業です。平日の放課後のほか、土曜日、夏休み等の長期休暇中にも実施しています。さらに利用者の拡大を目指して、次の事業を進めます。					
	①定員拡大事業					
	②地域子どもの居場所づくり事業					
	■対象者					
	①1年生から6年生までの児童 ②1年生から6年生までの児童					
成果指標	■目指す効果					
	①鍵っ子を無くし児童が安全に放課後等を過ごすことができます。					
	②地域住民の知識や技術を子どもたちに伝え、世代を超えた交流が広がります。子どもを通して地域住民と共働き家庭が知り合えることで地域の絆を強めることができます。					
	①～②を通し、共働き家庭等が安心して就労することができます。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	①拡大した定員数	30人	30人	30人	30人	30人
	実 績	0人	0人	0人	30人	
	②地域住民による子どもの居場所がある校区数（累計）	1校区	2校区	3校区	4校区	5校区
	実 績	0区	0区	0区	4区	

●具体的な施策（５）女性活躍推進



～児童の発達段階に寄り添い、安心して子育てができる環境をつくります～

事業名	カナリヤの家		主管課	こども未来課		
内 容	児童の健やかな発達を促し、集団に適応できるようにするため、その児童に必要な支援計画を立てるとともに児童の発達に寄り添いながら、日常生活における基本的な動作、知識、技能の習得などの発達支援を行います。 ■対象者 障がい児及び言葉や心身等の発達に心配や不安感がある乳幼児 ■目指す効果 対象となる児童が通所し支援を受けることにより、児童の言葉や運動、社会性などの発達が促され、保護者が安心して子育てができるようにします。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	カナリヤの家通所児童数	100 人	100 人	100 人	100 人	100 人
	実 績	117 人	95 人	86 人	79 人	



3 子育てをみんなでできる地域を目指します。

子育て支援の推進

●必要な対応

さまざまな保育ニーズに対する支援の充実を図るとともに、地域の人や企業が子育てのサポートに関わることによって、みんなで子育てに参加できるような地域づくりを目指します。



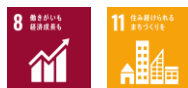
●具体的な施策（１）女性活躍推進

～必要なときに子どもを預かる機会を増やします～

事業名	病児保育・一時預かり事業の充実		主管課	子育て支援課		
内 容	保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病児保育を市内 2 か所において実施します。これにより、感染症の子どもも預かりやすい体制を整えながら、開設時間の延長などの利便性を高める協議を進めていきます。 保護者が短時間勤務や通院、冠婚葬祭、心身の負担軽減などの理由により、家庭で保育できない場合に、山之上こども園、太田第一保育園及びニチイキッズ美濃加茂保育園において、一時的に子どもを預かります。今後も、保育ニーズに合わせて拡大を検討していきます。 ■対象者 子育てをしている市民 ■目指す効果 いざという時に子どもを預けられる環境を作ることによって、安心して働きながら子どもを育てることができます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	①病児保育の定員数（累計）	7 人	7 人	7 人	7 人	7 人
	実 績	7 人	7 人	7 人	7 人	
	②一時預かり事業の定員数（累計）	17 人	17 人	22 人	22 人	22 人
	実 績	17 人	17 人	17 人	17 人	

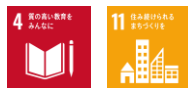


●具体的な施策（2）



～地域の人と一緒に子育てができる環境を作ります～						
事業名	ファミリー・サポート・センター		主管課	子育て支援課		
内 容	子育てを手伝ってほしい人と子育てを手伝いたい人が、それぞれ利用会員とサポート会員になって、保育園や小学校の登校園前又は帰宅後など、一時的に家庭での保育ができない時のサポートをします。病児も預かることができる体制も整えていきます。 ■対象者 子育て中の会員（利用会員）、子育ての手伝いをしたい会員（サポート会員） ■目指す効果 地域ぐるみでお互いを支えあい、安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくり、元気な地域の人をつくり、地域の人とふれあう子どもをつくることで、地域ぐるみで助け合いながら子育てをする風土をつくり、地域をつくれます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	ファミサポ利用件数（単年度）	1,040 人	1,050 人	1,060 人	1,070 人	1,080 人
	実 績	641 人	1,532 人	901 人	1,366 人	

●具体的な施策（3）



～企業やボランティアと協働して、地域で健やかな子どもを育みます～						
事業名	学習支援		主管課	福祉課		
内 容	ひとり親家庭の児童生徒を対象に、大学生や教員 0B 等のボランティアが学習を支援することで、学習習慣を身につけるとともに、ボランティアとの交流を通じて児童生徒の健全な育成が図れる環境をつくります。 ■対象者 ひとり親家庭の児童生徒（小学４年生～中学生） ■目指す効果 児童生徒に対し学習支援を行うことで、学習習慣を身につけ進学意欲を高めるとともに、ボランティアとの交流を通じて地域で健やかな児童生徒を育みます。					
成果指標	年度（令和）	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
	学習支援利用登録者数	50 人	50 人	50 人	60 人	60 人
	実 績	33 人	30 人	18 人	27 人	

4 安心して子どもを育てることができる環境をつくれます。

心身が健康に成長できる支援の充実

●必要な対応

暮らしの利便性向上や子どもの成長に寄り添う支援の充実によって、安心・安全な子育てが実感できる環境を目指します。



●具体的な施策（１）

～子どもと安心・安全に移動ができる公共交通を推進します～

事業名	あい愛バス運行事業		主管課	まちづくり課		
内 容	通勤、通学、通院、あるいは買い物、レジャーなどの移動手段として、コミュニティバスを運行します。移動手段であるバスの利便性を高めることで、日常生活の足を確保するとともに、外出の機会が増加し、新たな出会いやコミュニケーションの場、健康増進の機会が生まれます。 あい愛バスは、市内の全域を毎日運行しており、あい愛バスをはじめとする公共交通を使って、みんなが買い物やレジャーに行きやすくなりました。 ■対象者 市民、来訪者 ■目指す効果 公共交通を利用し、便利に外出する機会を増やすことで、子どもと安心・安全に日常生活を送れる環境をつくれます。					
	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
成果指標	コミュニティバスの利用者数（単年度）	104,000 人	108,000 人	112,000 人	116,000 人	120,000 人
	実 績	89,134 人	106,927 人	126,437 人	142,102 人	



●具体的な施策（２）女性活躍推進



～地域全体で子育てを支援できる環境をつくります～

事業名	子育て支援センター		主管課	子育て支援課		
内 容	地域における子育て支援の拠点として、乳幼児とその保護者の相互交流を促進、子育てについての相談や情報提供、子育てサークル等の育成及び支援など、子育てしやすい環境をつくります。					
	■対象者 子育て中の保護者とその子ども ■目指す効果 子育てに悩む母親等の支援や保護者相互の交流の場を提供することにより、楽しく子育てができ、二人目三人目を産みたいと思ってもらえる人を増やします					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	子育て支援センターの利用者数（単年度）	4, 800 人	4, 850 人	4, 900 人	4, 950 人	5, 000 人
	実 績	1, 457 人	5, 217 人	26, 325 人	32, 041 人	

●具体的な施策（３）



～子どもの成長・発達を見守ります～

事業名	乳幼児健康診査事業		主管課	健康課			
内 容	法に基づき、対象年齢の子どもに対して各種乳幼児健康診査を実施します。 また、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、新生児聴覚検査や母子の1か月健康診査にかかる費用の助成を行っています。						
	■対象者 対象年齢の乳幼児とその保護者 ■目指す効果 乳幼児健康診査で子どもの運動面や精神面の発達の遅れや疾病を早期に発見し、早期に適切な治療や療育につなぐことで、育児上の不安を軽減します。						
成果指標	年度（令和）		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	健診受診率（単年度）		99%	99%	99%	99%	99%
	実 績		99%	98.9%	98.0%	97.2%	

教育 ふるさとを好きになれる。

女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合を20%から40%に増やします

(出典:市民満足度調査)

●現在の課題

世界で活躍すること、夢をつかむことができる力を身に付けることが大事であると願う一方で、家族や育ったまちを大切にする気持ちも育てたい。かけがえのない財産は、大好きな家族のいるところであり、生まれ育った地域であって欲しい。

1 家庭や地域を大切に思う子どもを増やします。

ふるさと教育の推進

●必要な対応

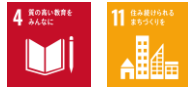
生まれ育った地域を大好きになるには、その地域の文化や歴史を学ぶ必要があるため、ふるさとのことを知り、考える機会の充実を目指します。

●具体的な施策（1）



～18 歳になるまで一貫した教育を積み重ね、地域への愛着を育てます～

事業名	命の授業 ふれあい教室事業		主管課	子育て支援課		
内 容	乳児とその保護者とのふれあい体験、妊婦との交流などの体験を通して、命の大切さや家庭の大切さ、子どもを産み育てる喜び、子どもについてなどを知ってもらいます。 ■対象者 これから親になる中学生 ■目指す効果 色々な体験を通して命の大切さや家庭の大切さ、子どもを産み育てる喜び、子どもについてなどを知り、将来の自分の生活プランの見通しを持つとともに、家庭や地域を大切に思う子どもをふやします。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	命のバトン参加中学生の満足度（単年度）	80%	83%	86%	89%	92%
	実 績	0%	－	90%	90%	



●具体的な施策（２）

～ふるさとのことを、もっともっと知ってもらふ機会をつくります～

事業名	ふるさと検定	主管課	ひとづくり課			
内 容	ふるさとの歴史、文化、風土などについて学び、地域のことを地域の人から伝えることで、もっとふるさとを好きになってもらうために、ふるさと検定の創設の取り組みを始めます。 ■対象者 市民、美濃加茂市に興味のある方 ■目指す効果 ふるさと検定を創設することで、ふるさとして働き、ふるさとして生活し、ふるさとして子どもを産み、育てられる環境をつくり、もっとふるさとが好きになれるようにします。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	ふるさと検定サイト受講者数（単年度）	700 人	800 人	900 人	1,000 人	1,000 人
	実 績	832 人	1,030 人	346 人	486 人	



●具体的な施策（３）

R2～R4

推進
交付金

～まちに対する「誇り」を醸成します～

事業名	シティプロモーション事業		主管課	秘書広報課		
内 容	美濃加茂市の魅力や潜在力のある資源を発掘し、テレビや新聞で取り上げられやすくなるよう企画を考え、メディア露出の獲得を目指す取り組みを行うほか、市の資源について、事前告知や取材誘致を兼ねて、首都圏や東海地区のテレビ局・雑誌編集部などをまわるメディアキャラバンを実施し、パブリシティ量（広告料金の発生しないメディア露出の数）の獲得を目指すものです。					
	■対象者 全市民（特に今後のまちづくりを担う若い世代） ■目指す効果 メディア等を使ってPR活動を行うことで、美濃加茂市の認知度やイメージの向上を図り、市民の「このまちに住んでいることへの誇り＝シビックプライド」の醸成を目的とする。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	20 代・30 代の美濃加茂市に住み続けたいと思う人の割合（単年度）	60%	65%	70%	71%	72%
	実 績	56. 6%	64. 4%	50. 3%	57. 5%	

2 地域や企業と一緒に子どもの教育を進めます。

キャリア教育の推進、子どもたちの地域参加の促進

●必要な対応

地域イベントに参加すること、地元企業をもっと知ることにより、社会や地域に役立つことを実感するとともに、このまちへの愛着心を育てることを目指します。



●具体的な施策（１）

～地域の若者と企業の早期接点創出をサポートします～

事業名	若者と企業つながる事業	主管課	商工観光課			
内 容	学校や企業と協力し、地域の若者が地元の企業や仕事に触れる機会を創出することで、将来の地域の担い手として、地元企業で働きたいと思うきっかけづくりを行います。 (勤労者労働者支援事業)					
	■対象者 地域の高校や各種学校、職業能力開発校などの生徒及びキャリア教育や人材確保に意欲のある企業 ■目指す効果 地域の若者が進学や就職する前の早い段階で、地元の企業や職業との接点を増やすことによって、若者の勤労観、職業観、倫理観の醸成や地域課題を考える動機付けとともに、人口減少社会において、地元企業が若者に選ばれるために必要な気付きを支援する。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	参加・協力企業数（累計）	12 件	14 件	16 件	18 件	20 件
	実 績	2 件	6 件	6 件	6 件	



●具体的な施策（２）

～地域の方々の専門性を学校教育に生かします～

事業名	学外講師派遣推進事業		主管課	学校教育課		
内 容	フロム0歳プラン2の3本柱の1つ「面による指導」の具現に向けて、地域の方々の指導力を活用して学校教育の充実を図ります。市内小中学校の学習や体験活動、クラブ活動や部活動等に専門的な知識や技能をもつ地域の方々を講師・指導者として招き、質の高い教育活動を進めます。また、地域との密接な関わりを重視した「開かれた学校づくり」を推進します。					
	■対象者 市内小中学校の児童生徒 ■目指す効果 地域の方々の指導力を活用して小中学校の教科の学習や道徳、クラブ活動や部活動、総合的な学習の時間等について、学習効果の向上と学校教育の活性化を図ります。また、地域の活性化にもつなげていきます。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	学外講師活用学習の児童生徒による満足度（単年度）	96%	98%	100%	100%	100%
	実 績	94%	94.9%	100%	100%	

3 子どもたちの“夢を実現する力”を育みます。

グローバル人材の育成

●必要な対応

海外で活躍する子どもを育成するために、英語教育や多文化共生、国際理解などが必要です。最先端の技術や情報に触れることで、夢をつかむことができる力を育みます。若い時に地域の魅力を知ること、未来のまちを担う人材を育成します。



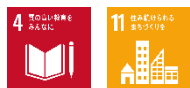
●具体的な施策（1）

～各学校が、特色ある教育を推進します～

事業名	F-0 特色ある学校づくり	主管課	学校教育課			
内 容	フロム0歳プラン2の「学校が楽しい！」の具現に向けて、「F－0 特色ある学校づくり補助金」により、各小中学校が地域や児童生徒の特性を生かした魅力ある教育活動を推進できるようにします。 文化、スポーツ等で優れた成績を収めた児童生徒を称賛し、「あじさい賞」を贈ります。 ■対象者 市内小中学校の児童生徒 ■目指す効果 0歳から18歳までの子どもを学校、家庭、地域が協力して育てることで、「自己にきびしく、人にやさしい、心身ともにたくましい子ども」の育成を目指します。特色ある教育活動を推進し、どの子も「学校が楽しい！」と言える魅力ある教育を実現します。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	F-0 特色ある学校づくりを通して「学校が楽しい！」と言える児童生徒の割合（単年度）	100%	100%	100%	100%	100%
	実 績	95%	93.1%	93.0%	93.0%	

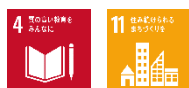


●具体的な施策（２）



～未来のまちをつくる人を育てます～

事業名	楽習ひろば・地域活性化スクール		主管課	ひとづくり課		
内 容	小学生から青年までの各世代ごとに美濃加茂市に触れる機会をつくることによって、未来のまちづくりを担う人材を育みます。 そのために、世代ごとに次の活動を進めていきます。また、ジュニアリーダーズクラブや成人式実行委員会の活動を通じて未来のまちづくりの人材を育みます。					
	① 地域教育推進事業（楽習ひろば） 他校や異学年の子どもたちとの交流、学習活動を通じて、コミュニケーション力を養い、他者を思いやる心を育みます。また、地域の講師や自然、文化を生かした学習活動により、子どもたちの持つ豊かな感受性をさらに伸ばします。					
	② 若者活躍事業（地域活性化スクール） 市役所若手職員との協働により、高校生に新たな気付きや学びの場を提供し、活動を通じて、将来の夢を持ち自発性富んだ美濃加茂市の礎となる若者の育成を図ります。					
	■対象者 ①市内在住、在学の小学校低学年 ②市内在住、在学の高校生 ③18～25歳までの美濃加茂市にゆかりのある若者					
	■目指す効果 将来の夢をもち、社会や地域の課題についての強い関心に基づき、積極的に活動できる若者、そして、将来の美濃加茂市を担う人材を育てます。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	若者による地域学習活動実施数（単年度）	30件	30件	30件	30件	30件
	実績	20件	89件	130件	137件	



具体的な施策（３）

～学生の視点を地域課題の解決に活かします～

事業名	まちじゅうキャンパス		主管課	ひとづくり課		
内 容	名古屋圏・東京圏の大学を中心に連携を図り、学生によるフィールドワーク・研究等が行える機会の提供や市事業への積極的な関与を促進することによって、若い世代のまちづくりに対する意識を高め、将来の美濃加茂市を担う人材の育成や関係人口の創出に繋がります。 (大学との連携推進事業)					
	■対象者 大学生 ■目指す効果 関係人口やUIJ ターンによる雇用の創出					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	大学生と共同で行った事業の数（1 大学 1 件）	3 件	4 件	5 件	5 件	5 件
	実 績	6 件	5 件	4 件	6 件	

●具体的な施策（４）



～国際交流事業を積極的に推進し、グローバルな人材の育成を目指す～

事業名	グローバルな人材の育成を目指して「多文化共生推進事業」		主管課	まちづくり課		
内 容	海外で活躍する人材を育成するために、身近に外国人とふれあう共生を進め、市民や子どもが容易に市内の中で国際色を感じ取ることのできる環境を構築します。また、新たな外国人児童生徒初期適応指導教室の開設や新たな多文化共生交流拠点を整備し、入管法の改正によりさらに増加する外国人居住者の生活指導や日本語指導、あるいは、学習支援を進め、外国人と日本人との交流が容易に図れる体制を進めるとともに、姉妹都市提携を行っているオーストラリアダボとの国際交流事業を積極的に推進します。 ■対象者 市民、子ども ■目指す効果 外国人児童への学習支援を充実することによって、日本語を話すことのできる外国人市民の増加につながるとともに、日本人と外国人の国際交流を積極的に行うことによって、市民や子どもたちの国際的な視野を広め、海外でも活躍できる子どもたちを育てることができるまちとなります。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる市民の割合（単年度）	60%	63%	66%	69%	72%
	実 績	47.1%	45.8%	53.8%	53.2%	



●具体的な施策（５）

～「英語が楽しい」「英語で伝えたい」と思える英語教育を推進します～

事業名	ネイティブスピーカーによる英語授業・小学1年生からの英語授業		主管課	学校教育課		
内 容	フロム0歳プラン2の「学校が楽しい!」の具現に向けて、児童生徒が生き生きとコミュニケーションを図り、能力を高めるための事業です。小学校1年生から英語の授業を実施し、小学校の高学年英語科に伴う教材の整備やネイティブスピーカーによる英語指導を行います。また、中学校3年生においては、外部検定を実施して児童生徒の英語能力を把握します。 (英語教育推進事業) ■対象者 市内小中学校の児童生徒 ■目指す効果 コミュニケーション能力を育成し、国際理解教育の充実とグローバルに活躍する健やかな人材を育成します。また、児童生徒の「英語4技能」をバランスよく育成します。					
成果指標	年度(令和)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	①英検 IBA3級程度の生徒の割合(単年度)	39%	41%	42%	43%	45%
	実 績	49%	36.3%	51.6%	55.5%	
	②「英語が好き」と回答する生徒の割合(単年度)	90%	91%	92%	93%	95%
	実 績	76%	90.2%	44.2%	53.6%	

●具体的な施策（6）



～日本へ来たばかりの外国人児童生徒に、
日本語や日本の文化、生活を教えます～

事業名	のぞみ教室	主管課	学校教育課			
内 容	フロム0歳プラン2の「学校が楽しい!」の具現に向けて、外国籍児童生徒が小中学校生活に適応し、充実した日々が送れるよう初期適応指導を行います。市内小中学校への就学を希望する日本語の理解が不十分な児童生徒に対して、日本語や日本の文化、学校生活の基礎について教え、小中学校の学校生活に適応することができるように、初期適応指導教室「のぞみ教室」で指導します。					
	■対象者 日本語がほとんど理解できない学齢期の外国人児童生徒 ■目指す効果 日本の文化や学校生活について理解し、小中学校に適応することができるようになります。簡単な日本語を身に付け、聞く・話す・読む・書くことができるようになります。また、保護者も日本の学校教育について理解し、児童生徒のキャリアについて考えることができます。					
成果指標	年度（令和）	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	教室利用児童生徒の学校就学率（単年度）	89%	93%	95%	97%	100%
	実 績	91%	100%	100%	100%	



4 子どもたちの学習意欲を高める教育を充実させます。

校外学習の推進、教育の情報化

●必要な対応

子どもたちに学校外でも広く学習機会をつくることによって、知る・発見することに関心を持ち、学ぶ楽しさを実感できるきっかけとし、学習に対する意欲を引出していきます。



●具体的な施策（１）

～児童生徒の「ふしぎだな、どうしてだろう」？ という科学への興味関心を高めます～

事業名	科学のふしぎ解決学習推進事業	主管課	学校教育課			
内 容	フロム0歳プラン2の「学校が楽しい！」の具現に向けて、「科学のふしぎ解決学習推進事業補助金」により、普段の授業では実施できない実験や体験学習、専門家による講演会等を充実させ、学校教育の質の向上を図ります。また、児童生徒の科学に対する興味関心を高め、自ら考え解決しようとする態度を育てます。					
	■対象者 市内小中学校の児童生徒 ■目指す効果 自然、科学に直接触れる体験等を通して、科学分野での学校教育の質を向上させます。また、児童生徒の学びに対する意欲や自己解決力を高めていきます。					
成果指標	年度（令和）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	科学のふしぎ解決学習参加児童生徒の満足度（単年度）	95%	98%	98%	100%	100%
	実 績	70%	88.8%	100%	100%	



●具体的な施策（２）

～博物館のひと、もの、ことから新しい発見や探求心を深め、 博物館に関わることでできる市民を育みます～

事業名	博学連携・子どもわくわくプログラム		主管課	文化振興課			
内 容	①博学連携事業 博物館での学習を教科の授業としてカリキュラムの中に位置づけ、博物館でしかできない体験を通して、より深い学習を重ねていきます。それにより、児童・生徒の学習に対する関心意欲を一層高め、知識理解をより確実にします。						
	②子どもわくわくプログラム 地域の歴史や自然、優れた作品など本物を鑑賞したり体験できる講座や活動を提供し、子どもたちの感性を磨きます。そして、生涯にわたって博物館と関わることでできる子どもを育みます。						
	■対象者 幼児、児童、生徒						
	■目指す効果 地域をよく知り、地域を愛し、博物館を身近に感じることができる文化的な資質を持つ美濃加茂市民を育みます。						
成果指標	年度（令和）		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	学習活動の利用日数割合（単年度）		70%	70%	70%	70%	70%
	実 績		60.2%	61.8%	63.9%	72.0%	

KPI(重要業績評価指標)の根拠

ステージ	K P I	現状値の根拠	目標設定の根拠
ライフスタイル	充実したライフスタイルを送る女性の割合を63.6%から75%に増やします R2 実績:63.3% R3 実績:63.7% R4 実績:54.9% R5 実績:61.7%	令和元年度市民満足度調査のうち、「今の暮らしについて思うこと」のうち、20～39歳の女性が今の暮らしに満足している割合。	第1期において、数値は上昇したものの、目標達成には至らなかったため、目標値を継続する。
出会い・結婚	婚姻件数(年あたり600件)を維持します R2 実績:482件 R3 実績:524件 R4 実績:531件 R5 実績:507件	市民課戸籍調から算出。平成27年度より平成30年度までの平均婚姻件数は600件。	晩婚化や未婚率が上がっている中で、婚姻件数を維持することによって、若い世代の結婚希望の実現率を高める。
妊娠・出産	生まれる赤ちゃんの数(年あたり500人)を維持します R2 実績:470件 R3 実績:450件 R4 実績:407件 R5 実績:421件	市民課戸籍調から算出。平成27年度より平成30年度までの平均出生件数は522件。	合計特殊出生率を改善し、少子化に歯止めをかけるため、現状値を維持する。
子育て	子どもを持つ世帯の平均子ども数1.75人を維持します R2 実績:1.75人 R3 実績:1.75人 R4 実績:1.75人 R5 実績:1.75人	18歳未満世帯員のいる世帯の18歳未満世帯人員数の平均推計値(令和元年10月1日)から算出。	平成22年度国調(1.73人)・平成27年度国調(1.74人)と比べ、平成30年度実績において、1.75人と改善したことから、当該数値を維持し、将来人口の目標に近づけていく。
教育	女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合を20%から40%に増やします R2 実績:8.9% R3 実績:8.9% R4 実績:12.5% R5 実績:12.0%	令和元年度市民満足度調査うち、女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合。	人口の流出を防ぐため、将来に希望が持てるよう、現状値から倍増させることを目標値とする。